

発達障害の人の児童期から 青年期への成長を支えるセミナー

～自閉スペクトラム症の特性を活かした取り組み～

POINT

知ること



自閉スペクトラム症（ASD）の成人期および子ども期をテーマに、個々の特性に合わせたソフトスキル支援や自立支援の重要性を学びます。梅永雄二先生が成人期ASD者のソフトスキルの課題と支援を、林大輔先生が子ども期ASD者の自立課題や予防的支援を具体例と共に解説します。対話を通じた相互理解の価値や合理的配慮の実現方法を深く掘り下げ、社会で活躍するための実践的な知識を提供します。

POINT

気づくこと



自閉スペクトラム症（ASD）の特性に基づく支援方法の重要性についてお話します。成人期にはソフトスキル習得の課題や支援のアイデア、子ども期には個別支援や予防的対応の必要性について解説します。対話を通じた相互理解が合理的配慮を機能させる鍵であることを学び、特性を活かした自立的な社会性を育む実践例が持つ価値に気づくことが期待されます。

POINT

活かすこと



ASD特性を持つ方への合理的配慮の実践方法や、個別のニーズに応じた環境調整スキルを身につけ、相互理解を促進する対話の技術を習得を目指します。また、予防的対応による困難の軽減方法や、自立支援における適切な課題設定の知識を得ることで、現場でより効果的な支援を実施する能力が高まる事が期待できます。

成人期 ASD 者に対 するソフトスキルの重要 性と支 援のあり方 AM10:00～12:00



梅永 雄二 氏(早稲田大学 教育・総合科学学術院 教育心理学専修 教授)

自閉スペクトラム症を中心とする発達障害児者のキャリア教育、社会参加、就労支援をベースに研究著書「教師、支援者、親のための境界知能の特性と支援がわかる本」(中央法規)
「発達障害の人の「就労支援」がわかる本」(講談社)

PM13:00～14:45 児童期で様々なスキルを高めるために ～自立課題で学ぶこと～

((福) 大府福祉会 たくと大府 施設長) 林 大輔 氏

著書「TEACCH プログラムに基づく 自閉症児・者のための自立課題アイデア集

—身近な材料を活かす 95 例」(中央法規)

「自閉症・知的障害者支援に役立つ氷山モデル・ABC 分析シートの書き方・活かし方」(中央法規)



シンポジウム『発達障害のある人の成長を支えるために』

PM15:00～16:30



【コーディネーター】

志賀 利一 氏 (公社) 日本発達障害連盟 常務理事)

障害者支援において、療育、就労の現場から、国立重度知的障害者総合施設「のぞみの園」での調査・研究や研修の実施など、幅広い分野で活躍

2025 **7.26 (土)**

会 場 北とぴあ

参加費 一 般
会員価格

第二研修室 東京都北区王子 1-11-1

13,000円

11,700円

※準会員・賛助会員にご入会いただきますと
10%割引が適用されます。(人数制限あり)